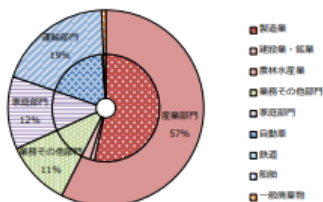


排出量の現状把握

CO₂排出量の傾向把握

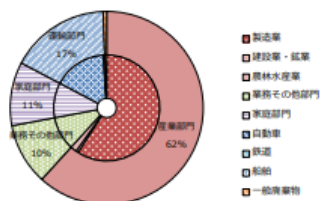
○地方公共団体の部門・分野別排出量（標準的手法）

1) 排出量の部門・分野別構成比 平成17年度（2005年度）



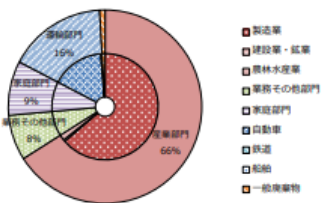
部門	平成17年度 排出量 (千t-CO ₂)	構成比
計	785	100%
産業部門	451	57%
製造業	420	53%
建設業・鉱業	11	1%
農林水産業	21	3%
業務その他部門	85	11%
家庭部門	94	12%
運輸部門	150	19%
自動車	147	19%
航空	62	8%
鉄道	85	11%
船舶	3	0%
一般廃棄物	0	0%
廃棄物分野（一般廃棄物）	5	1%

2) 排出量の部門・分野別構成比 平成25年度（2013年度）



部門	平成25年度 排出量 (千t-CO ₂)	構成比
計	793	100%
産業部門	490	62%
製造業	469	59%
建設業・鉱業	6	1%
農林水産業	15	2%
業務その他部門	82	10%
家庭部門	85	11%
運輸部門	122	15%
自動車	129	16%
航空	56	7%
鉄道	72	9%
船舶	4	0%
一般廃棄物	0	0%
廃棄物分野（一般廃棄物）	5	1%

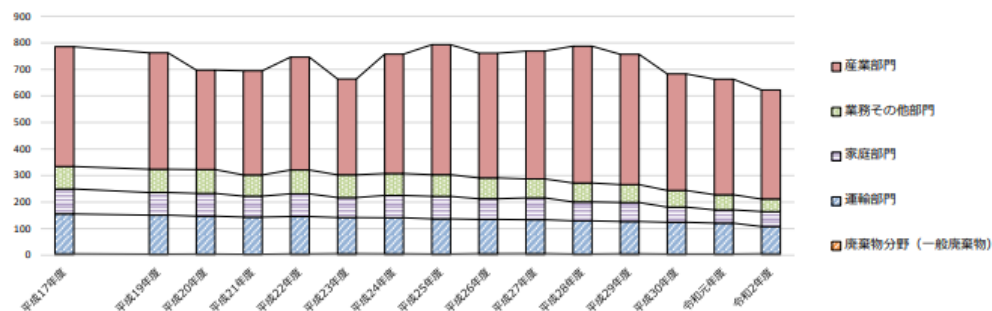
3) 排出量の部門・分野別構成比 令和2年度（2020年度）



部門	令和2年度 排出量 (千t-CO ₂)	構成比
計	622	100%
産業部門	411	66%
製造業	396	64%
建設業・鉱業	4	1%
農林水産業	11	2%
業務その他部門	47	8%
家庭部門	57	9%
運輸部門	102	16%
自動車	100	16%
航空	40	6%
鉄道	59	9%
船舶	3	0%
一般廃棄物	0	0%
廃棄物分野（一般廃棄物）	6	1%

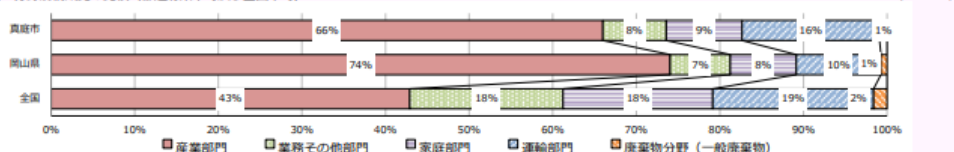
【自治体排出量カルテ】（1 / 5）

真庭市

4) 部門・分野別の温室効果ガス（CO₂）排出量の経年変化（千t-CO₂）

部門・分野	平成17年度 排出量 (千t-CO ₂)	平成18年度 排出量 (千t-CO ₂)	平成19年度 排出量 (千t-CO ₂)	平成20年度 排出量 (千t-CO ₂)	平成21年度 排出量 (千t-CO ₂)	平成22年度 排出量 (千t-CO ₂)	平成23年度 排出量 (千t-CO ₂)	平成24年度 排出量 (千t-CO ₂)	平成25年度 排出量 (千t-CO ₂)	平成26年度 排出量 (千t-CO ₂)	平成27年度 排出量 (千t-CO ₂)	平成28年度 排出量 (千t-CO ₂)	平成29年度 排出量 (千t-CO ₂)	令和元年度 排出量 (千t-CO ₂)	令和2年度 排出量 (千t-CO ₂)
計	785	762	697	694	746	664	757	793	761	769	787	757	683	663	622
産業部門	451	438	375	392	425	361	450	490	470	481	515	491	439	435	411
製造業	420	419	359	373	406	337	427	469	459	469	493	469	419	416	396
建設業・鉱業	11	9	7	6	6	8	7	6	5	5	5	5	4	4	4
農林水産業	21	10	9	13	12	16	15	15	22	17	16	15	15	15	11
業務その他部門	85	88	90	80	86	83	82	79	71	71	68	63	57	47	47
家庭部門	94	85	86	79	85	75	84	85	78	82	71	71	57	50	57
運輸部門	150	147	142	140	140	136	132	129	129	127	125	122	120	116	102
自動車	147	144	139	137	137	133	132	129	125	124	121	119	117	113	100
航空	62	60	59	60	60	58	59	56	54	54	53	51	50	48	40
鉄道	85	83	81	77	77	74	73	72	71	70	69	67	66	65	59
船舶	3	3	3	3	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3
一般廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃棄物分野（一般廃棄物）	5	4	5	4	5	6	5	5	6	5	6	5	5	5	6

5) 部門・分野別構成比の比較（都道府県平均及び全国平均）

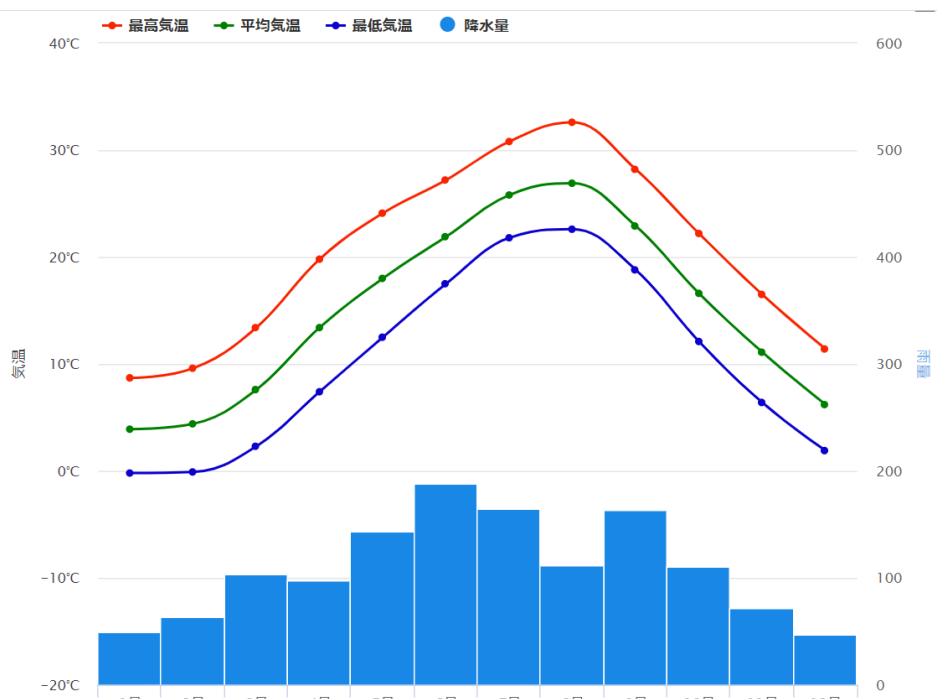


グループ名：

【真庭市】区域の特性（自然的特性）

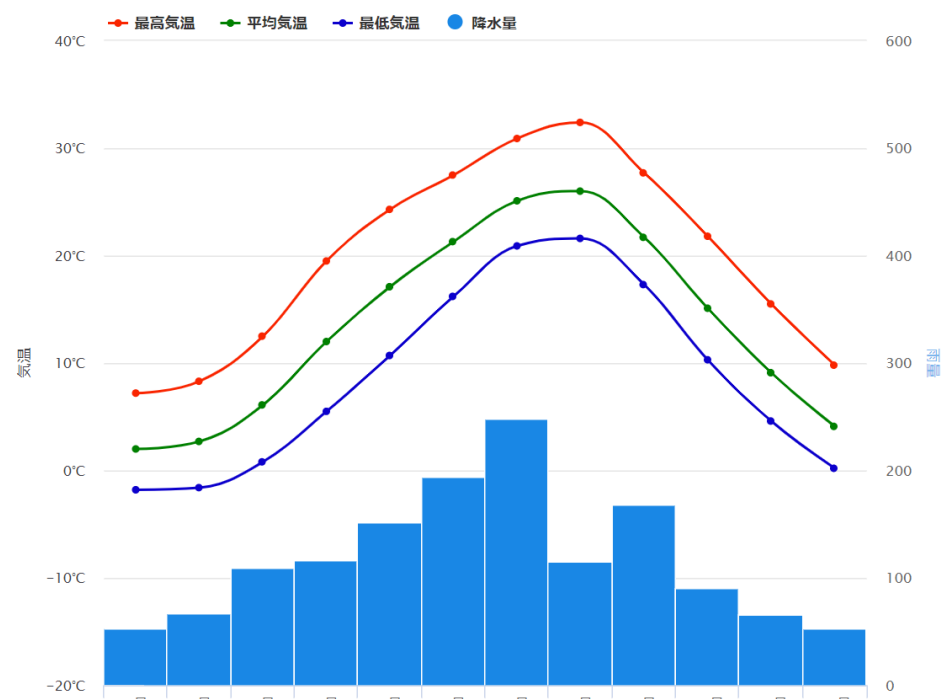
気候

奈良県



奈良 年平均気温：14.9℃ 年降水量：1316.0 mm 統計期間：1981～2010

真庭市



久世 年平均気温：13.5℃ 年降水量：1432.0 mm 統計期間：1981～2010

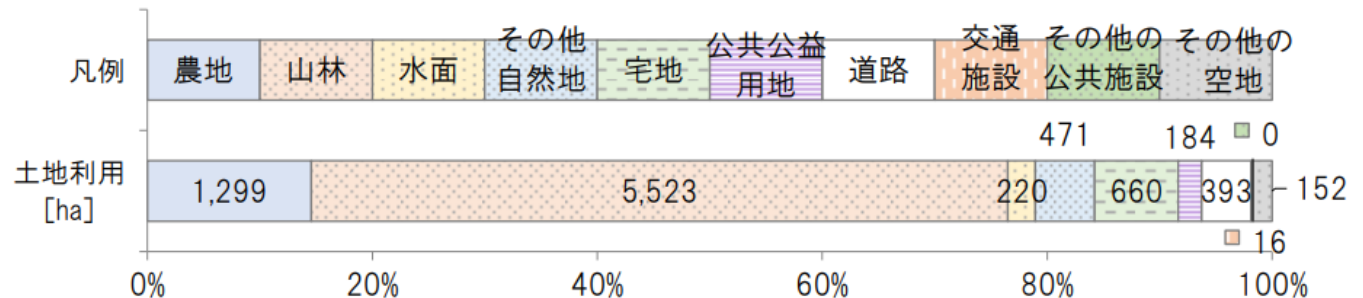
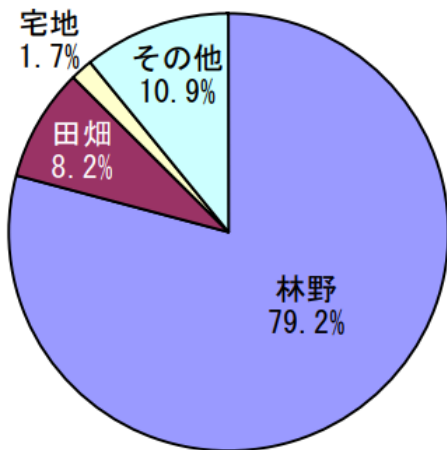
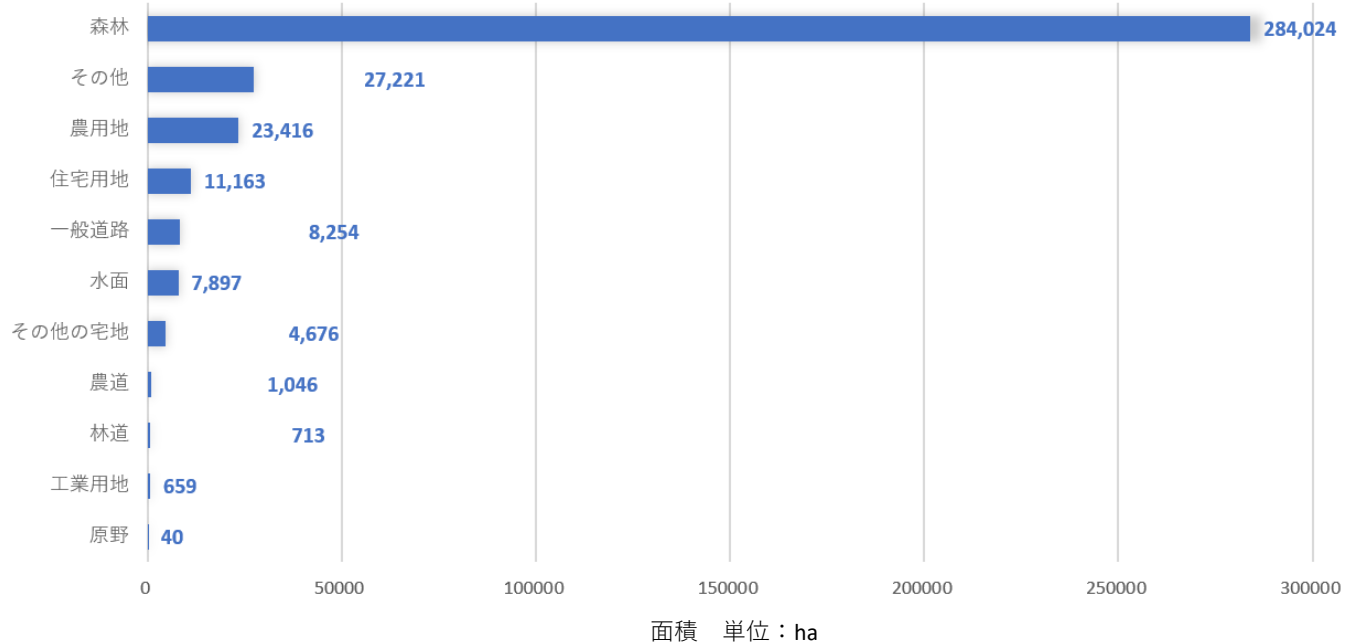
グループ名：

【真庭市】区域の特性（自然的特性）

土地利用

奈良県

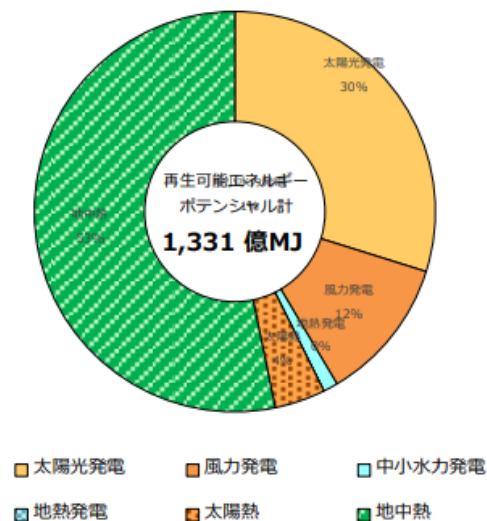
真庭市



再エネ賦存状況

奈良県

1) 区域内の再生可能エネルギーの導入ポテンシャル



真庭市

1) 区域内の再生可能エネルギーの導入ポテンシャル

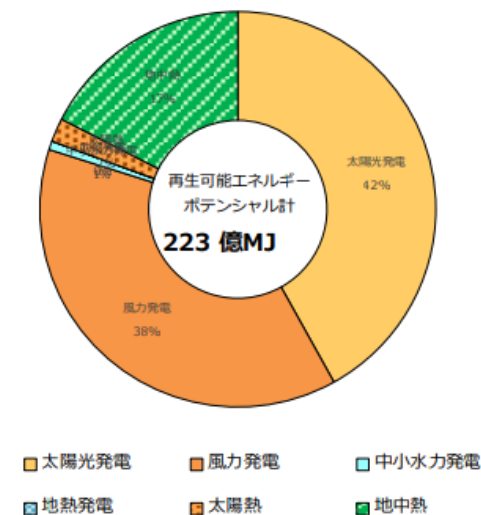


表.区域の再生可能エネルギーの導入ポテンシャル	設備容量[kW]	利用可能熱量 [億MJ]	発電電力量[MWh]	再エネ導入ポテンシャル[億MJ] ^{※3}
太陽光発電 ※1	8,520,619 kW	-	11,034,839 MWh	397 億MJ
建物系	4,928,412 kW	-	6,398,531 MWh	230 億MJ
土地系	3,592,207 kW	-	4,636,308 MWh	167 億MJ
風力発電 (陸上) ※2	1,739,000 kW	-	4,307,962 MWh	155 億MJ
中小水力発電	76,359 kW	-	437,432 MWh	16 億MJ
河川	76,359 kW	-	437,432 MWh	16 億MJ
農業用水路	0 kW	-	0 MWh	0 億MJ
地熱発電	46 kW	-	284 MWh	0 億MJ
蒸気フラッシュ発電	0 kW	-	0 MWh	0 億MJ
バイナリー発電	0 kW	-	0 MWh	0 億MJ
低温バイナリー発電	46 kW	-	284 MWh	0 億MJ
太陽熱	-	55 億MJ	-	55 億MJ
地中熱	-	709 億MJ	-	709 億MJ
再生可能エネルギー合計	10,336,024 kW	763 億MJ	15,780,517 MWh	1,331 億MJ

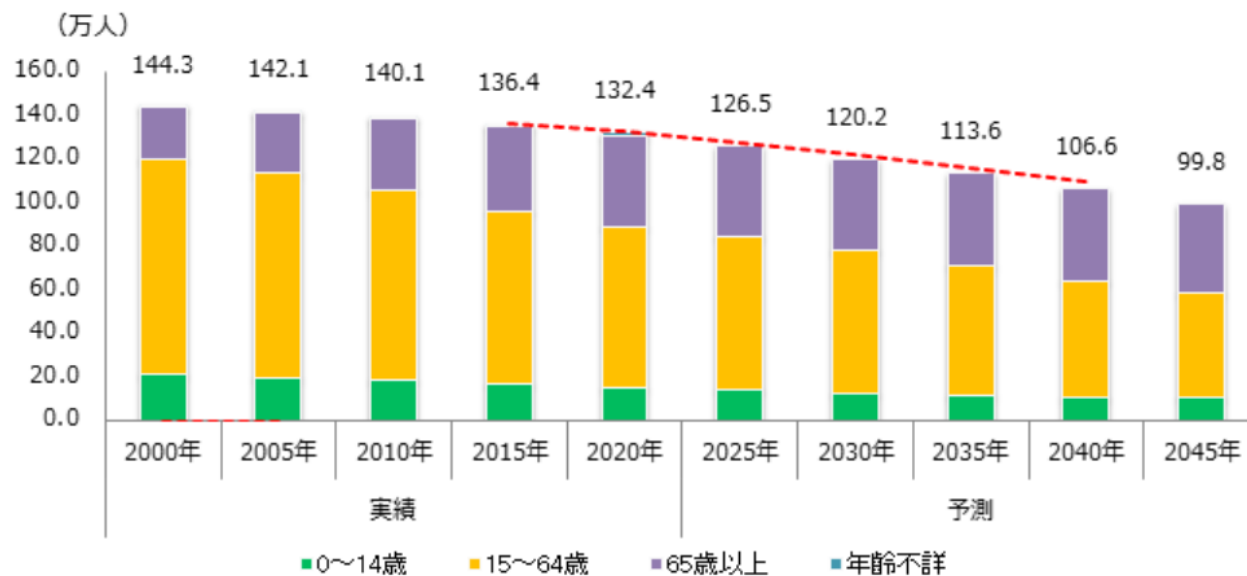
表.区域の再生可能エネルギーの導入ポテンシャル	設備容量	利用可能熱量	発電電力量	再エネ導入ポテンシャル ^{※3}
太陽光発電 ※1	2,086,986 kW	-	2,593,583 MWh	93 億MJ
建物系	382,241 kW	-	475,002 MWh	17 億MJ
土地系	1,704,745 kW	-	2,118,581 MWh	76 億MJ
風力発電 (陸上) ※2	938,900 kW	-	2,348,234 MWh	85 億MJ
中小水力発電	7,212 kW	-	44,190 MWh	2 億MJ
河川	7,212 kW	-	44,190 MWh	2 億MJ
農業用水路	0 kW	-	0 MWh	0 億MJ
地熱発電	11 kW	-	67 MWh	0 億MJ
蒸気フラッシュ発電	0 kW	-	0 MWh	0 億MJ
バイナリー発電	0 kW	-	0 MWh	0 億MJ
低温バイナリー発電	11 kW	-	67 MWh	0 億MJ
太陽熱	-	4 億MJ	-	4 億MJ
地中熱	-	39 億MJ	-	39 億MJ
再生可能エネルギー合計	3,033,109 kW	43 億MJ	4,986,074 MWh	223 億MJ

グループ名：

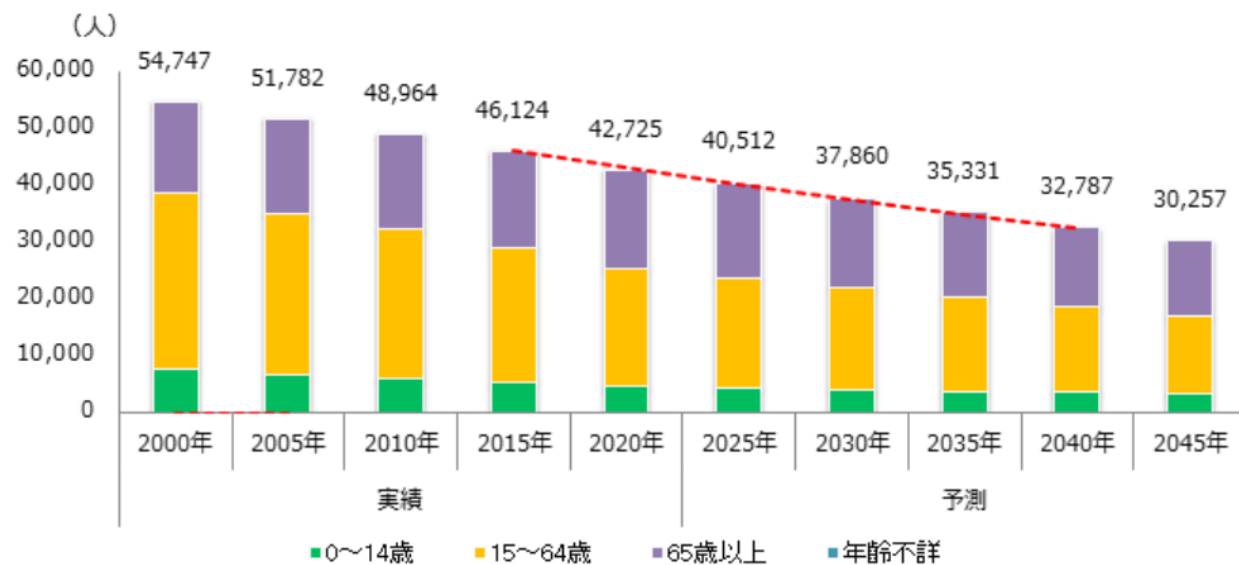
【真庭市】区域の特性（社会、経済的特性）

人口

奈良県



真庭市

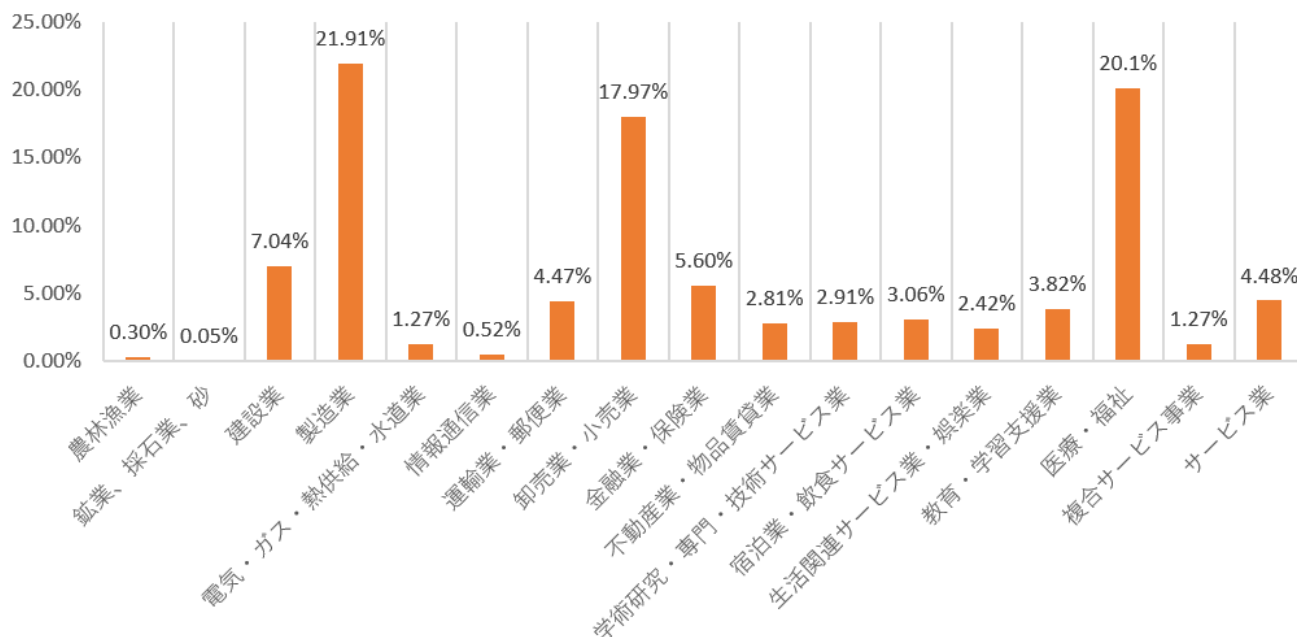


グループ名：

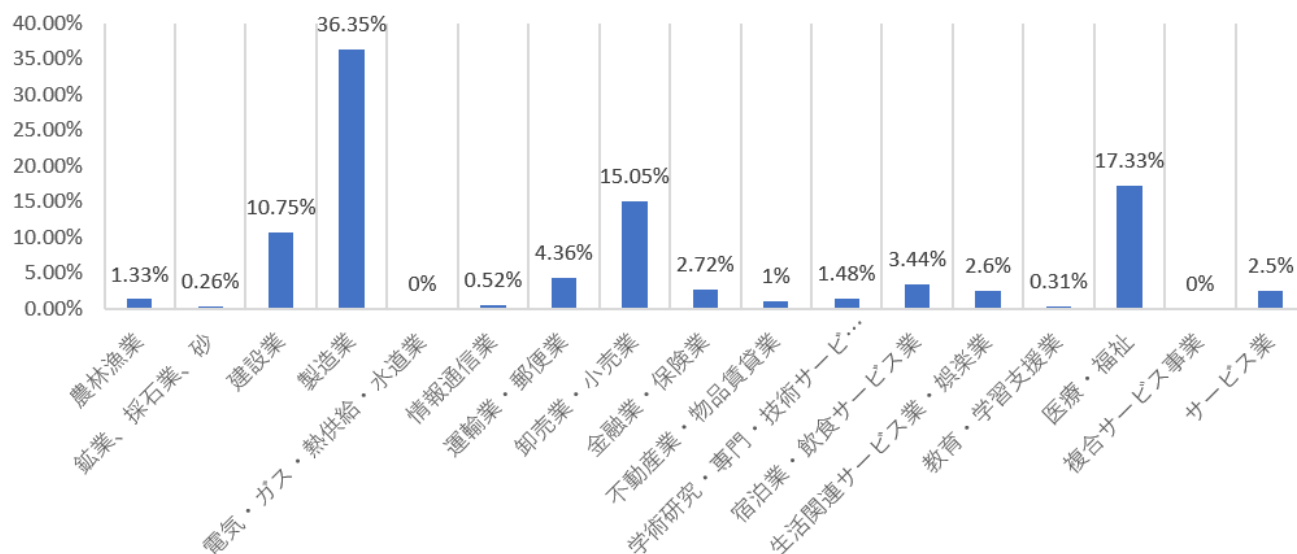
【真庭市】区域の特性（社会、経済的特性）

産業

奈良県



真庭市



グループ名：

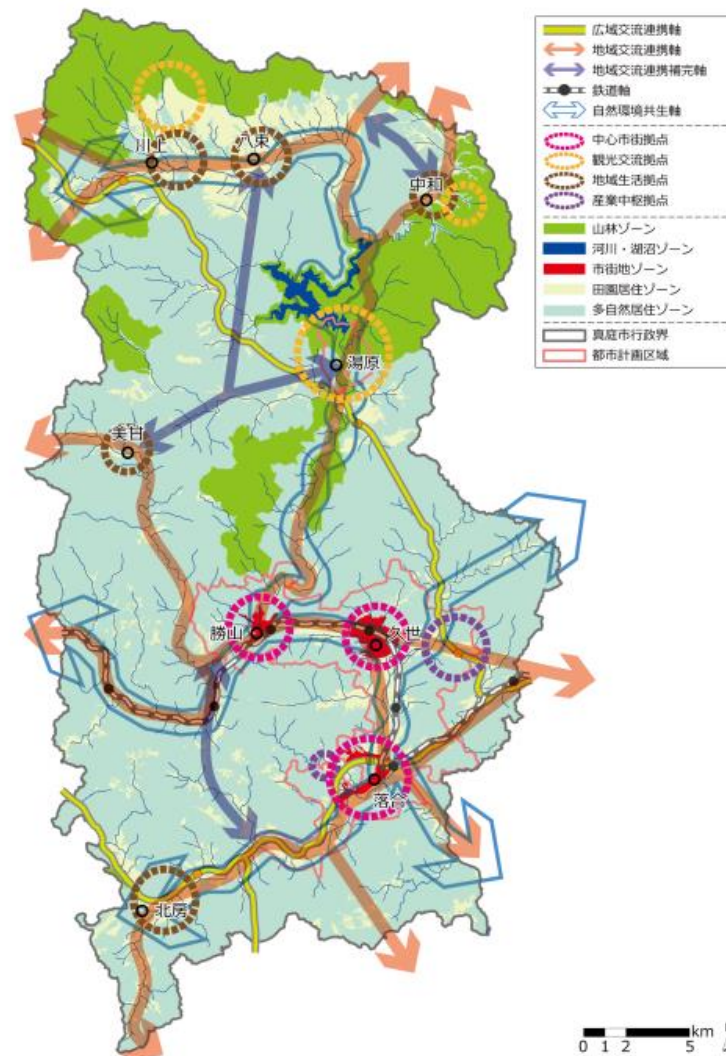
【真庭市】区域の特性（社会、経済的特性）

都市構造 交通

奈良県

真庭市

[将来都市構造図]

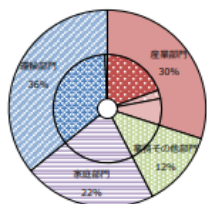


排出量の現状把握

CO₂排出量の傾向把握

○地方公共団体の部門・分野別排出量（標準的手法）

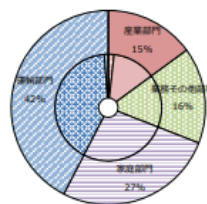
1) 排出量の部門・分野別構成比 平成17年度（2005年度）



■製造業
■建設業・鉱業
■農林水産業
■業務その他部門
■家庭部門
■自動車
■鉄道
■船舶
■一般廃棄物

部門	平成17年度 排出量 (千t-CO ₂)	構成比
合計	13	100%
産業部門	4	30%
製造業	3	19%
建設業・鉱業	0	3%
農林水産業	1	8%
業務その他部門	2	12%
家庭部門	3	22%
運輸部門	5	36%
自動車	5	35%
旅客	2	14%
貨物	3	21%
鉄道	0	1%
船舶	0	0%
廃棄物分野（一般廃棄物）	0	0%

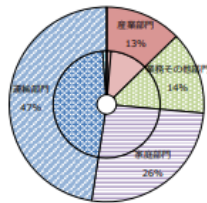
2) 排出量の部門・分野別構成比 平成25年度（2013年度）



■製造業
■建設業・鉱業
■農林水産業
■業務その他部門
■家庭部門
■自動車
■鉄道
■船舶
■一般廃棄物

部門	平成25年度 排出量 (千t-CO ₂)	構成比
合計	10	100%
産業部門	1	15%
製造業	0	0%
建設業・鉱業	0	2%
農林水産業	1	13%
業務その他部門	2	16%
家庭部門	3	27%
運輸部門	4	42%
自動車	4	41%
旅客	2	17%
貨物	2	25%
鉄道	0	1%
船舶	0	0%
廃棄物分野（一般廃棄物）	0	0%

3) 排出量の部門・分野別構成比 令和2年度（2020年度）

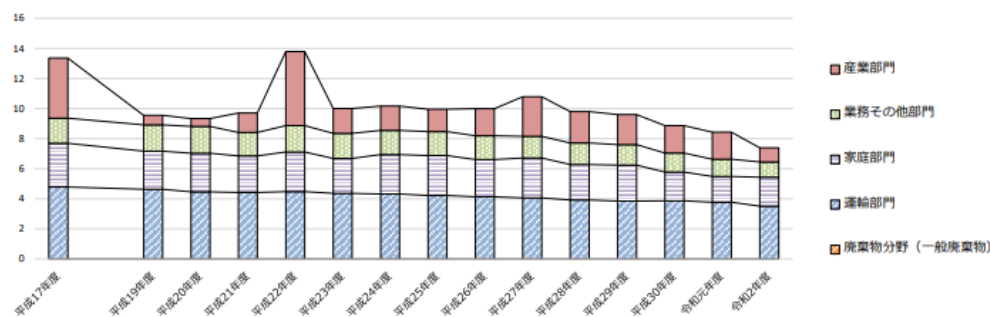


■製造業
■建設業・鉱業
■農林水産業
■業務その他部門
■家庭部門
■自動車
■鉄道
■船舶
■一般廃棄物

部門	令和2年度 排出量 (千t-CO ₂)	構成比
合計	7	100%
産業部門	1	13%
製造業	0	0%
建設業・鉱業	0	1%
農林水産業	1	11%
業務その他部門	1	14%
家庭部門	2	26%
運輸部門	4	48%
自動車	3	46%
旅客	1	18%
貨物	2	29%
鉄道	0	1%
船舶	0	0%
廃棄物分野（一般廃棄物）	0	0%

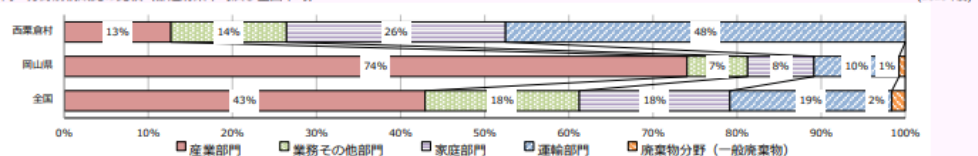
【自治体排出量カルテ】（1 / 5）

西栗倉村

4) 部門・分野別の温室効果ガス（CO₂）排出量の経年変化
(千t-CO₂)

部門・分野	平成17年度 排出量 (千t-CO ₂)	平成19年度 排出量 (千t-CO ₂)	平成20年度 排出量 (千t-CO ₂)	平成21年度 排出量 (千t-CO ₂)	平成22年度 排出量 (千t-CO ₂)	平成23年度 排出量 (千t-CO ₂)	平成24年度 排出量 (千t-CO ₂)	平成25年度 排出量 (千t-CO ₂)	平成26年度 排出量 (千t-CO ₂)	平成27年度 排出量 (千t-CO ₂)	平成28年度 排出量 (千t-CO ₂)	平成29年度 排出量 (千t-CO ₂)	平成30年度 排出量 (千t-CO ₂)	令和元年度 排出量 (千t-CO ₂)	令和2年度 排出量 (千t-CO ₂)
合計	13	10	9	10	14	10	10	10	10	11	10	10	9	8	7
産業部門	4	1	1	1	5	2	2	1	2	3	2	2	2	2	1
製造業	3	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業・鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農林水産業	1	0	0	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	1
業務その他部門	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1
家庭部門	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2
運輸部門	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
自動車	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3
旅客	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1
貨物	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2
鉄道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
船舶	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃棄物分野（一般廃棄物）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

5) 部門・分野別構成比の比較（都道府県平均及び全国平均）

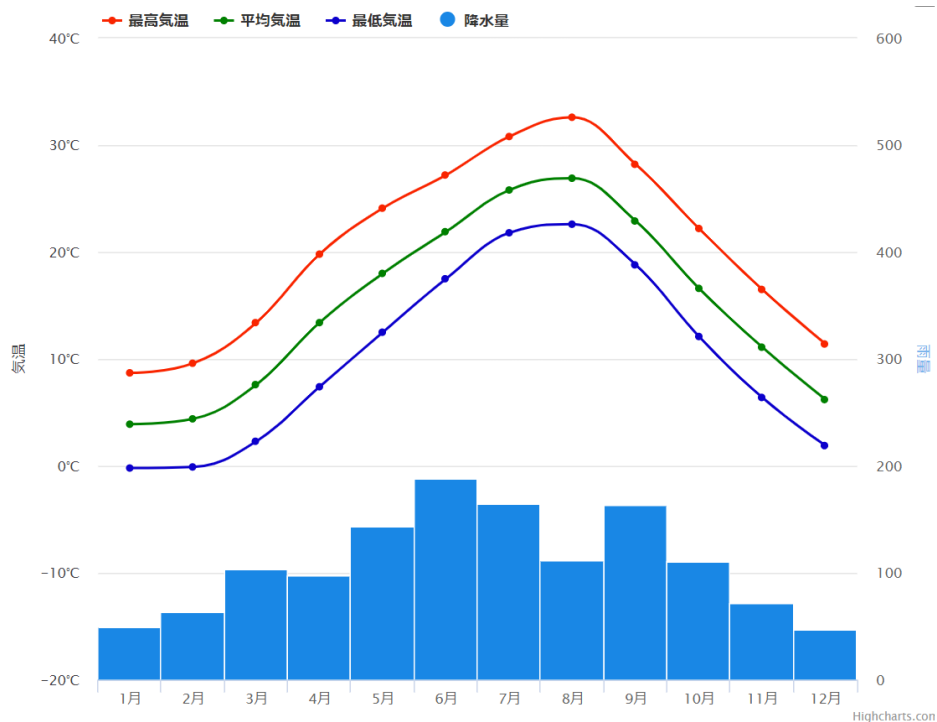


グループ名：

【西粟倉村】 区域の特性（自然的特性）

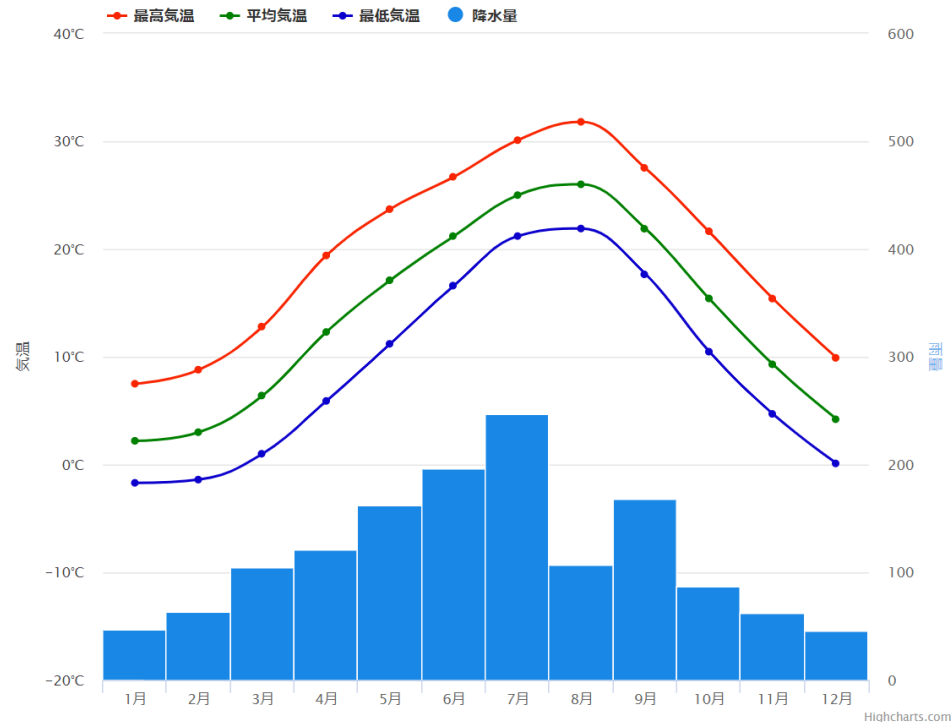
気候

奈良県



奈良 年平均気温：14.9℃ 年降水量：1316.0 mm 統計期間：1981~2010

西粟倉村

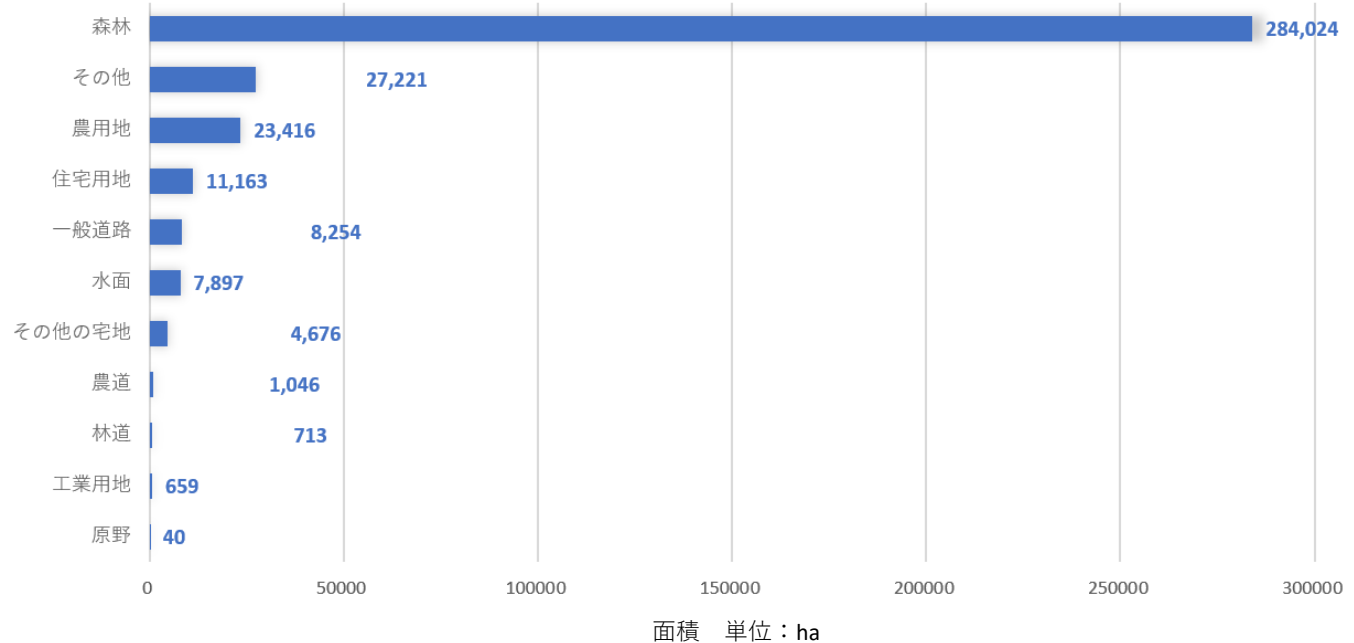


津山 年平均気温：13.7℃ 年降水量：1415.8 mm 統計期間：1981~2010

土地利用

奈良県

西栗倉村



西栗倉村の総面積は57.97km²で、そのうち約95%が山林であり、林野率が非常に高い。
また、その内の84%がスギやヒノキの人工林である。
この特徴を活かし、森林の多面的な活用と、持続的な経済循環が行われる「上質な田舎づくり」を目指した森林管理をおこなっている。

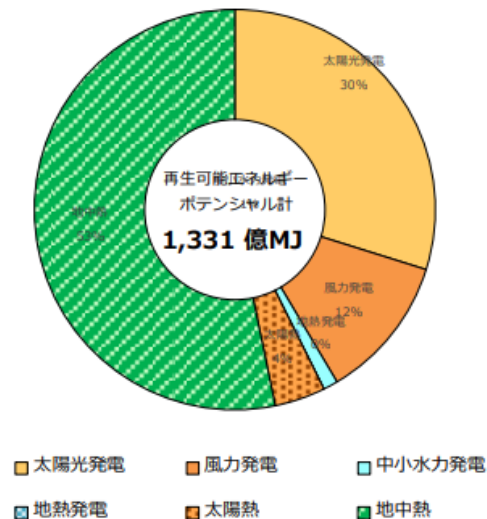
グループ名：

【西栗倉村】区域の特性（自然的特性）

再エネ賦存状況

奈良県

1) 区域内の再生可能エネルギーの導入ポテンシャル



西栗倉村

1) 区域内の再生可能エネルギーの導入ポテンシャル

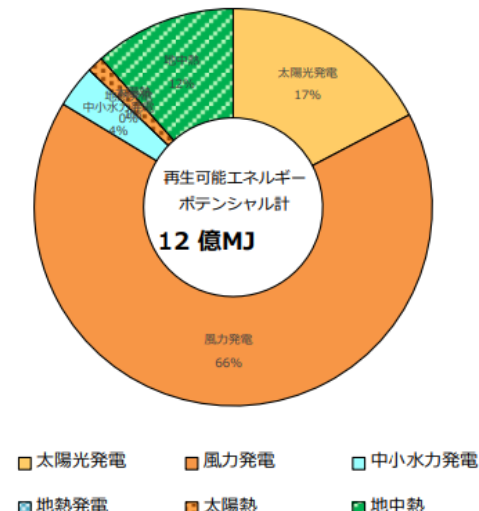


表.区域の再生可能エネルギーの導入ポテンシャル	設備容量[kW]	利用可能熱量 [億MJ]	発電電力量[MWh]	再エネ導入ポテンシャル[億MJ] ^{※3}
太陽光発電 ※1	8,520,619 kW	-	11,034,839 MWh	397 億MJ
建物系	4,928,412 kW	-	6,398,531 MWh	230 億MJ
土地系	3,592,207 kW	-	4,636,308 MWh	167 億MJ
風力発電 (陸上) ※2	1,739,000 kW	-	4,307,962 MWh	155 億MJ
中小水力発電	76,359 kW	-	437,432 MWh	16 億MJ
河川	76,359 kW	-	437,432 MWh	16 億MJ
農業用水路	0 kW	-	0 MWh	0 億MJ
地熱発電	46 kW	-	284 MWh	0 億MJ
蒸気フラッシュ発電	0 kW	-	0 MWh	0 億MJ
バイナリー発電	0 kW	-	0 MWh	0 億MJ
低温バイナリー発電	46 kW	-	284 MWh	0 億MJ
太陽熱	-	55 億MJ	-	55 億MJ
地中熱	-	709 億MJ	-	709 億MJ
再生可能エネルギー合計	10,336,024 kW	763 億MJ	15,780,517 MWh	1,331 億MJ

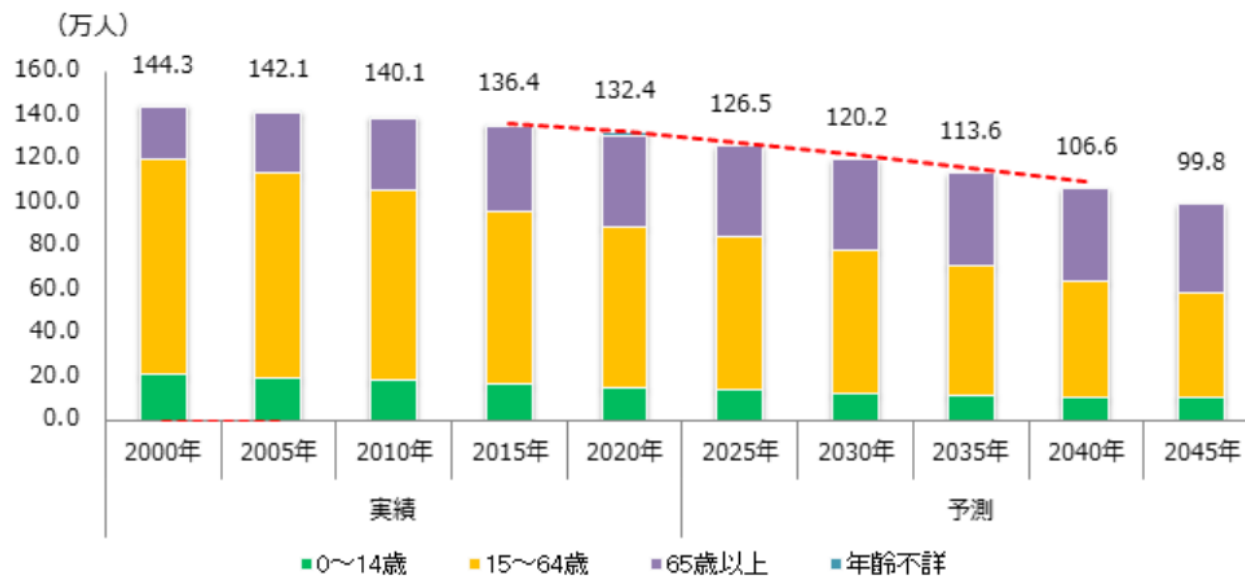
表.区域の再生可能エネルギーの導入ポテンシャル	設備容量	利用可能熱量	発電電力量	再エネ導入ポテンシャル ^{※3}
太陽光発電 ※1	46,907 kW	-	57,387 MWh	2 億MJ
建物系	12,969 kW	-	15,869 MWh	1 億MJ
土地系	33,938 kW	-	41,518 MWh	1 億MJ
風力発電 (陸上) ※2	86,200 kW	-	220,251 MWh	8 億MJ
中小水力発電	2,020 kW	-	11,477 MWh	0 億MJ
河川	2,020 kW	-	11,477 MWh	0 億MJ
農業用水路	0 kW	-	0 MWh	0 億MJ
地熱発電	0 kW	-	0 MWh	0 億MJ
蒸気フラッシュ発電	0 kW	-	0 MWh	0 億MJ
バイナリー発電	0 kW	-	0 MWh	0 億MJ
低温バイナリー発電	0 kW	-	0 MWh	0 億MJ
太陽熱	-	0 億MJ	-	0 億MJ
地中熱	-	1 億MJ	-	1 億MJ
再生可能エネルギー合計	135,127 kW	2 億MJ	289,115 MWh	12 億MJ

グループ名：

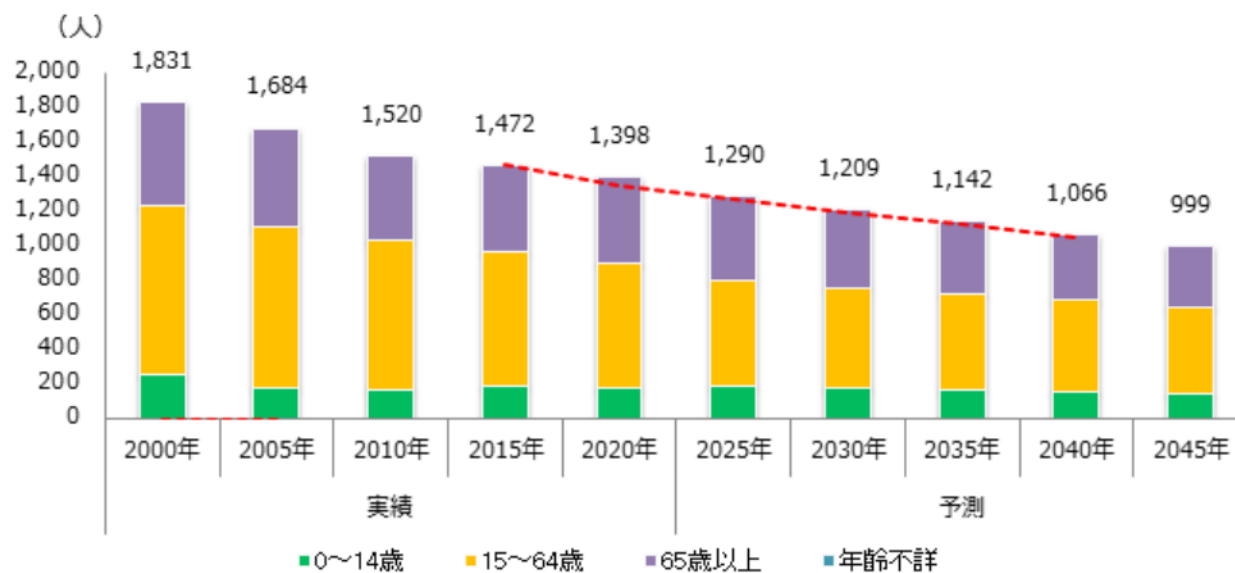
【西栗倉村】区域の特性（社会、経済的特性）

人口

奈良県



西栗倉村

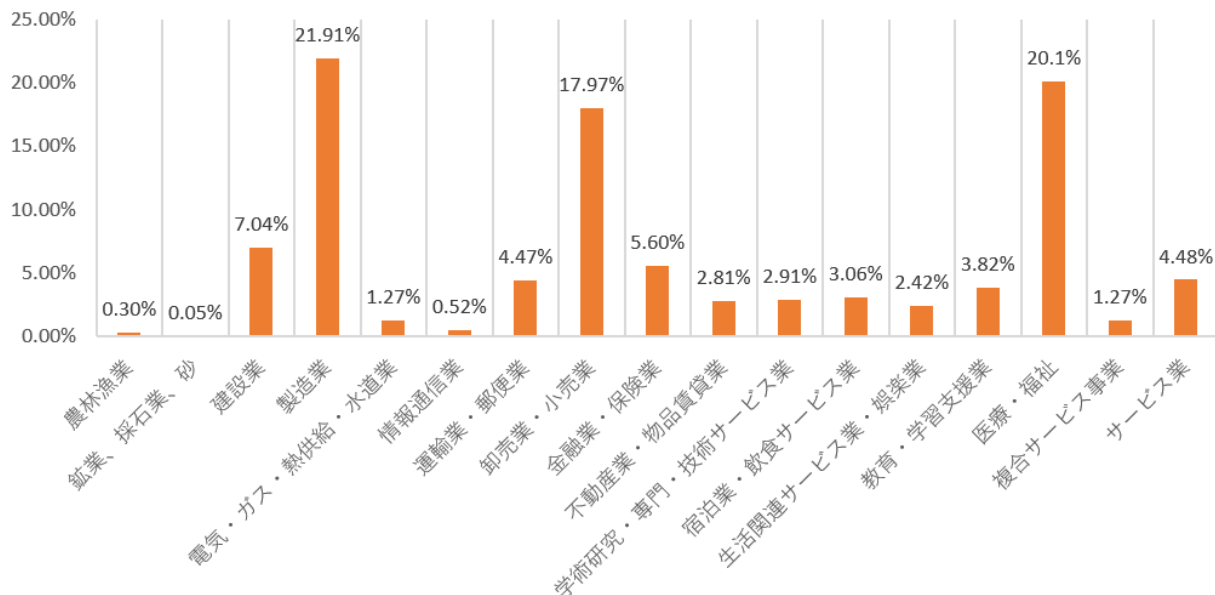


グループ名：

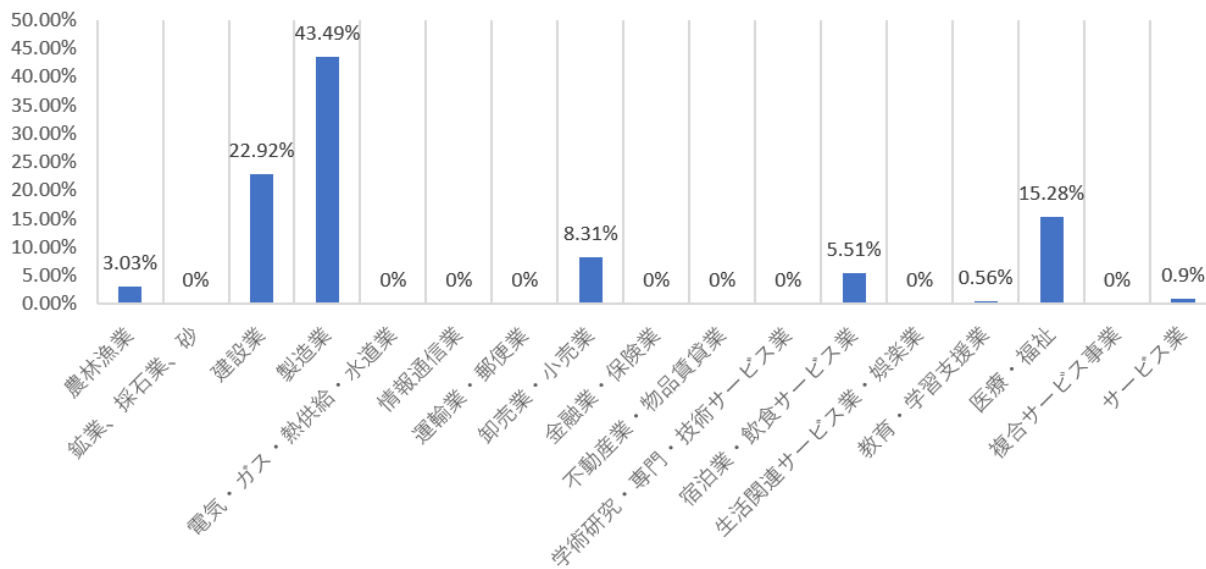
【西栗倉村】区域の特性（社会、経済的特性）

産業

奈良県



西栗倉村



グループ名：

【西栗倉村】区域の特性（社会、経済的特性）

都市構造 交通

奈良県

西栗倉村

